

# BRAND NEW PRODUCTS - 新商品のご紹介 -

## オーロラアクリルピンバッジ



### 珍しいオーロラアクリル板を使用したピンバッジ

「ピンバッジの達人」より、角度や光の当たり具合できらめく「オーロラアクリルピンバッジ」をリリース。アクリル板にオーロラ加工を施した、特別なピンバッジです。10個から製作可能で、留め具はバタフライクラッチを使用。パッケージは、透明OPP袋の個包装やプラケースなどを用意しています。そのほか、詳細はWebサイトをご覧ください。



オリジナルのピンズ専門店。  
小ロット10個から製作OK!

ピンバッジの達人

検索

<https://pintatsujin.com>



## フチなしアクリルキーホルダー



### フチまで印刷できるアクリルキーホルダーを1個から製作OK!

「アクリルグッズの達人」より、「フチなし印刷」ができるアクリルキーホルダーが新登場。通常のアクリルキーホルダーとは異なるインクを使用しているため、剥がれに強く、今までできなかった表現が可能です。もちろん、1個から製作OK。片面印刷のみの商品です。そのほかにも、通常のアクリルキーホルダー(フチあり)とは異なる点がありますので、詳細はWebサイトでご確認ください。



オリジナルのアクリルグッズの専門店。  
最小1個~大ロットまで製作可能

アクリルグッズの達人

検索

<https://acryltatsujin.com>



## 社長オススメの 今月の1冊



## ウクライナ戦争

2022年2月24日、絶対ないだろうと思っていた戦争が始まって、もうすぐ1年。「ロシアとウクライナの戦争は、何が原因なのか?今戦争で何が起きているのか?」を理解するために、本書を手にとりました。何が理由であれ、この戦争の一義的な責任はロシアにあり、一方的な暴力の行使に及んだことは変わらない事実です。戦争は、歴史の教科書の中にある存在ではなく、「我々日本がこのような事態に巻き込まれたらどうすべきか?」、「そうならないために何を準備すべきか?」を検討することが必要だと感じました。2023年、戦争や紛争がない、世界が平和でありますように。

### BOOK DATA

筑摩書房(出版)/小泉 悠(著)/946円(税込)

ウクライナ戦争 Amazon

検索



## 編集後記

今号より、「CRMニュースレター」から「BeBlockニュースレター」の通常版の第一号となったのを機に、デザインをリニューアルしました。今回も弊社のデザイナーによる、制作です。そして、新組織体

制となって半年が経過。今年も各チームで様々な取り組みが行われ、たくさんの楽しく明るいニュースをお届けできるかと思います。今後とも、ご愛読のほど、よろしく申し上げます。(広報:田淵)

**BeBlock**  
株式会社 BeBlock  
[www.beblock.co.jp](http://www.beblock.co.jp)

■名古屋オフィス  
愛知県名古屋市中村区名駅5-21-8 船入ビル2F・3F  
TEL.052-446-5544(管理本部)

■本社工場  
名古屋市天白区植田南2-805  
TEL.052-805-5611

■植田工場  
名古屋市天白区植田南2-1403

■東京オフィス  
東京都品川区東五反田1-21-9 ウィスタリア東五反田ビル9F  
TEL.03-6420-0896

■栄生工場/TIEZ studio(タイズスタジオ)  
名古屋市西区栄生3-2-19  
TEL.052-526-0991(タイズスタジオ)

■植田第2工場(植田セカンド)  
名古屋市天白区植田南2-1508

2023年2月6日発行 vol.54

# BeBlock

## News Letter // February 2023 Volume 54

# 2

## 箱根駅伝2023

毎年2月号は恒例の「箱根駅伝レビュー」です。今回は、最後まで優勝争い、3位争い、そしてシード争いも熾烈な展開で、とても見応えのある箱根駅伝でした。前評判は、駒澤大学(以下、駒澤)と青山学院大学(以下、青学)の一騎打ちと言われていました。結果は、駒澤が往路、復路ともに1位の完全優勝で、史上5校目となる3冠(出雲・全日本・箱根)を達成しました。青学は3位で、その差は約7分と、タイムでは大きく離された結果となりました。振り返ると、駒澤の区間賞は、山下りの第6区の伊藤くんのみで、あとの9名は区間5位以内の成績で、ほぼノーミスでした。一方、青学は6区の大ブレーキで万事休す。両校の結果だけを見ると、5区の上野と6区の下野で7分の差がついたことから、青学は箱根の山に負けたということになります。



株式会社 BeBlock  
代表取締役  
松村 祐輔

駒澤はエース格の花尾くんが、体調不良でエントリー変更になったにもかかわらず、代わり選手が力を出し切りました。これは、控え選手を含めたチームによる勝利だと思います。選手層が厚く、誰が走っても高いパフォーマンスを出ることができるチームに仕上がっていたのでしょう。これを会社の例で考えると、誰かが体調不良で仕事を休むことになっても穴を開けることなく補完し合い、支障なく仕事を進めることのできるチームといえます。青学にもチームプレーがありました。復路を3位でスタートしたのですが、6区の大ブレーキにより、順位を8位に落としました。その後、7区・8区としっかりと襷をつなぎ、エース格である岸本くんが9区で、5人抜きで激走で3位に上がり、ダントツの区間賞。これは、「6区で大ブレーキで失速してしまった仲間の分を挽回して、帳消しにしてあげたい」、「青学として、3位以内の表彰台は譲れない」という熱い想いとプライドを感じる走りを感じました。

もうひとつ、箱根駅伝のエース区間の2区で感動したシーンがありました。エース対決となった駒澤の田澤くん、中央の吉居くん、青学の近藤くんのデットヒートです。近藤くんが吉居くんを抜き去ったとき、吉居くんに「ついてこい!」というジェスチャーをしたのです。これには泣けました。ライバルとの競争でありながら、箱根駅伝を共に創り上げる「共創」なのかもしれません。吉居くんは、レース後のインタビューで「(近藤)幸太郎くんにつかせてもらって、なんとか耐えることができた」と話しています。結果、吉居くんが区間賞、2秒差で近藤くん、さらに10秒差で田澤くん。わずか12秒の中に3人がおさまる、劇的なレースでした。

## シューズメーカーの戦い

選手の足元、「シューズ」にも注目です。2021年の大会では、210名中201名、95.7%がナイキのシューズを履いて、いわば箱根ランナー指定シューズ状態となりました。2022年は73.3%とシェアを落とし、今年のシェア率に注目していましたが、昨年からさらに10%以上落として、61.9%でした。ナイキの減少分はアディダス(18.1%)とアシックス(15.2%)が吸収した形となりました。それでも、ナイキは依然として圧倒的シェアを保っています。優勝した駒澤は、選手10名全員、ナイキのシューズで走り抜きました。

おそらくメーカーによるシューズの機能性の差は、ほとんどなくなっていると思います。我々の仕事でいえば、アクリルキーホルダーも缶バッジも、競合企業と比べて、機能性・品質・価格に大きな差がないのと同じようなことです。そのなかで、ユーザーに選ばれるメーカーになるため、各社がしのぎを削っています。もし、あなたがシューズメーカーの戦略担当者だったら、どんなプランでシェアを上げていきますか?そんなことを考えてみると、所属しているプロジェクトのヒントになるかもしれません。

追伸、3回チャンスがあった東京マラソンの抽選ですが、すべて落選で今年も出走できません。ジョギングは続けながら、今年もゴルフを頑張ろうと思っています。

## BeBlockの会社ロゴに隠された意味とは？ 会社ロゴから見る、 新会社名への想いや意味をご紹介します！

2023年1月1日より、社名を株式会社シー・アール・エムから「株式会社BeBlock」へと変更しました。

そして、社名変更と同時に、BeBlockのロゴも誕生。

そこで、今回は会社ロゴから新社名「BeBlock」への想いや意味に迫ります！



### 創業20周年を機に、更なる発展と自社のブランドの確立を目指す！

新社名のBeBlockは、「ピブロック」と読みます。「Be」と「Block」の2つの語句から成り立ち、「Be」は「(～として)存在する」・「(～の状態)である」と訳し、「Block」は「積み木」・「まとまり」・「街区」を意味し、さらに拡大解釈として「チーム」ととらえることができます。つまり、BeBlockは積み木のような多面的なビジネスを展開し、チームとしてのまとまり・多様性・人権を尊重し、お客様に貢献することで、地域社会から必要とされる存在であり続けたいという想いを込めています。



### シンボルマークが表現する、その意味とは？

会社ロゴは、BeBlockのデザイナーが制作。「シンプルだけど、存在感がある」をテーマに、アルファベットの太さや「l」と「k」の縦のラインをコマ単位で調整を行うなど、試行錯誤を繰り返し、完成させました。シンボルマークは、「B」を立体的に表し、後ろから太陽の光が当たっている様子を表現(「B」のラインの白は光が当たっている様子を、黒はシャドウを表現)。階段のようにデザインし、上部の先端が尖っているのは矢印を意味し、「みんなで、同じベクトルに向かって、階段を一步一步着実にのぼっていこう！」という想いを込めています。また、コーポレートカラーの「赤」は、明るく、活発的なイメージで、「挑戦する精神」を表現しています。

### 看板など、装飾も新たに！

各拠点の看板やフロアマットなど、各種装飾もリニューアル。昨年中に「社名変更プロジェクト」のメンバーで取り組み、完成しました。



www.beblock.co.jp

新コーポレートサイトも、ぜひチェックしてください！



名古屋オフィス3Fのカフェスペース



東京オフィスのエントランス



BeBlockの出来事や社内の様子をご紹介します！

BeBlockの大きな社内行事から小さな出来事まで、日々の様子をお伝えします！

### イベントレポート



### 11月、「第2回モルックアジア大会」にて、「缶バッジの達人」が協賛&出展！

11月27日(日)、千葉県君津市で開催された「第2回モルックアジア大会」(「一般社団法人 日本モルック」協会主催)に、「缶バッジの達人」が協賛。参加賞の缶バッジ1100個を提供しました。そして、大会当日には企業PRブースを出展。ブースでは、「缶バッジ製作体験」、「ガチャガチャ抽選会」を行いました。あいにくの天気でのみの開催となりましたが、約300人もの方々に缶バッジの製作体験を楽しんでいただき、おおいに盛り上がりました。



「缶バッジの達人」では「モルック缶応援割」を実施中  
モルックに関わる  
オリジナル缶バッジ作成を10%オフで！  
← 詳細はこちらをご覧ください

- 「モルック」とは？  
フィンランドの伝統的なゲームをもとに、老若男女が楽しめるものとして誕生したアウトドスポーツ。
- 「モルック」と「缶バッジ」のつながりは？  
モルックでは、試合の際にチームの缶バッジを交換しあう慣習があります。

### 新入社員紹介

2022.10 入社 ライセンスチーム

和田 直人 Naoto Wada

#### Q.入社前の会社や仕事のイメージは？

A. Web集客に強い、頼れるグッズ製作会社というイメージでした。

#### Q.そのイメージは、入社して実際にいかがでしたか？

A. 成功の裏に失敗と試行錯誤があり、それをみんなで乗り越えてきたんだなど、チームワークの良さを感じています！

#### Q.現在の主な仕事内容は？

A. ライセンスを取り扱った商品企画・デザインを担当しています。

#### Q.最後に抱負をひと言！

A. 前のめりで挑戦して仕事の幅を広げ、貢献できるよう頑張ります！



### おすすめ ランチ

“健康経営”に取り組むBeBlock! 健康には良い食事が不可欠です。With コロナだからこそ、美味しい料理を食べて元気に過ごしていきたい! このコーナーではオフィス近隣の「おすすめのランチメニュー」を紹介します。

本社工場  
植田工場



餃子定食

#### ホワイト餃子 植田餃子店

千葉県発祥の有名店「ホワイト餃子」。今回紹介するのは、本社工場(名古屋市天白区)のすぐ近くにある、同店の「植田餃子店」の「餃子定食」(920円・税込)です。餡子が特徴でモチモチの生地の餃子に、ボリューム満点のスープがついて、食べごたえ抜群! 人気店のため、ランチタイムは待ち時間が発生するかもしれませんので、ご注意ください!

#### 勝手にミシュラン

味	🍴🍴🍴	コスバ	🍴🍴🍴
量	🍴🍴🍴	スピード	🍴🍴🍴
接客	🍴🍴🍴	総評	🍴🍴🍴